

つくば市の放射線に関する基本的な対応方針に対する
見解及び意見

平成23年7月
つくば市放射線対策懇話会

つくば市放射線対策懇話会は、つくば市の放射線に関する基本的な対応方針について下記の見解及び意見を付する。

「つくば市の放射線に関する基本的な対応方針」は、学術的な見地から妥当なものと判断する。

つくば市が、現在測定している空間放射線量は、その周辺地区での値を代表しているものと見なすことができる。

放射性セシウムは、アスファルトやコンクリートにとどまり難く、土壌の粘土質に沈着する特性がある。

安心の確保のために保護者や教師、ボランティアが自主的に行う小中学校・幼稚園・保育所・公園施設などの除染（局所的な場合を含む）については、つくば市がそれらを支援することを期待する。

つくば市農作物中の放射線量測定については、市民の不安を払拭するため、より強化することを期待する。

つくば市放射線対策懇話会

産業技術総合研究所 齋藤 則生

国立環境研究所 土井 妙子

高エネルギー加速器研究機構 伴 秀一

筑波大学 松本 宏